

特別史跡加曽利貝塚の「発掘調査現地説明会」を開催します！
～第2期調査の成果を総括！南貝塚中央部の調査成果を解説します～

千葉市では、特別史跡加曽利貝塚において実施している令和4年度の発掘調査の成果を解説する「発掘調査成果説明会」を開催しますので、お知らせします。

また、今年度は3カ年で実施している第2期調査の最終年にあたるため、第2期調査の成果も総括して解説しますので、併せてお知らせします。

1 趣旨・目的

平成29年度から特別史跡加曽利貝塚の本格的な発掘調査を半世紀ぶりに開始し、令和元年度までの調査で、縄文時代晩期の集落と大型住居跡の存在を明らかにしました（第1期調査）。

令和2年度からは南貝塚中央部の窪地を対象とした第2期調査（調査期間3カ年）を開始し、馬蹄形をなす南貝塚中央部の窪地の解明、集落と貝層の関係の把握を目的として調査をしています。

令和2年度は、調査区内にある昭和39年の調査区を再発掘し、土層の確認を行いました。令和3年度は、中央窪地を中心に調査を行い、中央窪地の表層は縄文時代晩期（今から約3000年前）に人為的に削られていたことを明らかにしました。

第2期調査の最終年にあたる令和4年度は、中央窪地と貝層の間を主たる調査区に定め、7月12日（火）～11月26日（土）の期間で発掘調査を行っており、発掘調査現地説明会で学芸員が調査成果を説明します。

2 日時

令和4年11月26日（土）10：00～15：30

※荒天中止

中止の場合は11月25日（金）16：00までに加曽利貝塚博物館ホームページに掲示します。また、電話での千葉市教育委員会文化財課への問い合わせも可能です

【URL】<https://www.city.chiba.jp/kasori/>

【電話】文化財課 043-245-5960（9：00～17：00）

3 会場

特別史跡加曽利貝塚（若葉区桜木8-33-1）

<アクセス>千葉モノレール桜木駅または京成バス桜木町バス停下車、徒歩約15分

4 見学時間

以下の時間帯（30分／回）に分け、各回定員45名で解説を行う。

- ① 10:00～10:30 ④ 11:30～12:00 ⑦ 14:00～14:30
② 10:30～11:00 ⑤ 13:00～13:30 ⑧ 14:30～15:00
③ 11:00～11:30 ⑥ 13:30～14:00 ⑨ 15:00～15:30

5 参加方法（事前申込制）

電子申請か往復はがきか、電子メールにて、氏名（1申請につき代表者1人）・住所・電話番号、人数（最大5名）、30分ごとの希望時間帯（上記①～⑨）のうち、第2希望までを記入して千葉市教育委員会文化財課へ申込。小学生以下の場合は保護者同伴。手話通訳希望は申込時に連絡。

【往復はがき】〒260-8730 千葉市中央区問屋町1-35

【電子申請】ちば電子申請サービス

【電子メール】kasori.jomon@city.chiba.lg.jp

11月15日（火）必着。定員各回45名。応募者多数の場合は抽選。

6 見どころ

（1）時期の異なる土地改変

南貝塚の貝層のすぐ内側には縄文時代後期（今から約4000年前）の柱穴が多数見つかっており、住居等の建物があったと考えられます。またその上には大量の土が堆積しており、この付近には貝殻が廃棄されただけでなく、掘削した土も廃棄され、盛土が形成されていたことがわかりました。昨年度の調査では縄文時代晩期（今から約3000年前）に中央窪地の周縁の土が削平されていることがとらえられましたが、それ以前の段階にも土地改変が行われていることが明らかになりました。

（2）中央窪地周縁の建物跡

昨年度の調査で、中央窪地周縁で縄文時代晩期の遺物が多量に出土しましたが、今年度の調査ではその付近から長方形に配列された柱穴が発見されました。柱穴は後期の柱穴より深く、やや大きいものです。性格は特定できていませんが、柱をもつ掘立柱建物跡があったと考えられます。



今年度の発掘調査の様子



昨年度の現地説明会の様子

7 報道機関向け現地レクチャーの開催

(1) スケジュール

11月4日(金) 14:00から

(2) 取材申込

現地でのレクチャーに参加を希望される方は、11月4日(金) 10:00までに文化財課(電話245-5960)へ事前にご連絡ください。

※レクチャー当日は、発掘調査地点付近(下図の★)に集合ください。

<参考>

令和4年度発掘調査の実施場所

□ …… 発掘調査範囲 □ …… 貝層範囲

★ …… 現地レクチャー集合場所



令和4年度発掘調査の位置